



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社fonfun

上場取引所 東

コード番号 2323 URL <https://www.fonfun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部部長 (氏名) 八田 修三

TEL 03-5365-1511

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	266	1.6	0		0		2	
2019年3月期第2四半期	261	0.4	9		11		13	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 13百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	1.02	
2019年3月期第2四半期	4.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	673	319	47.4
2019年3月期	665	316	47.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 319百万円 2019年3月期 316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	584	8.5	21	733.1	19		10		3.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,866,720 株	2019年3月期	2,866,720 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	44,401 株	2019年3月期	44,401 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,822,319 株	2019年3月期2Q	2,822,492 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
(開示の省略)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境に関しては、スマートフォンが市場の中心となり、業界再編が続いております。2019年6月末における携帯電話の契約数は1億7,964万件(前年同期比4.8%増 総務省発表資料による)であり、大幅な契約数増加が見込めないなか、総務省主導による政策の影響もあり、携帯電話端末の価格と通信料のバランスが変化してきています。主要通信キャリア以外の仮想移動体通信事業者(MVNO)の存在感も増し、一契約あたりの売上高(ARPU)は微減を続け、コンテンツビジネスにも影響を及ぼしております。主要携帯通信キャリアが主導してきたビジネスモデルは、今後も大きく変化していくことが予想されます。

このような状況下、当社グループは、株式会社fonfunにて主力事業であるリモートメール事業の維持・拡大に努めつつ、連結子会社である株式会社FunFusionにてショートメッセージ(SMS)を利用したサービスの機能強化と拡販を進めております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① リモートメール事業

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは、「リモートメール」の個人版サービス・法人版サービスともに成長市場であるスマートフォン市場での拡販に努めました。

「リモートメール」個人版サービスにつきましては、フィーチャーフォン契約者減少による売上の減少を補うために、スマートフォン会員の獲得に注力いたしました。スマートフォンサービスを対象に、Webアフィリエイトと携帯電話販売店舗における入会販促活動、顧客満足度とサービスの継続利用率を上げるための機能改善を継続して実施しております。

「リモートメール」法人版サービスにつきましては、スマートフォンを含めたマルチデバイス化を進めた結果、法人版契約社数全体に対するスマートデバイスでの利用契約社数の割合が増加しております。お客様のニーズに丁寧に対応し、新機能の追加や新たなオプションサービスを開発することで、お客様の獲得、解約防止、利用単価の向上を図りました。さらに、法人向けサービスとして開発した「リモートブラウザ」、「リモートカタログ」や他社から提供を受けている「リモート・ビュー(AnyClutch Remote)」、「リモート名刺(BizCompass)」など、リモートメール以外のスマートデバイス向けサービスの販売も強化しております。

また、一部の携帯販売店にて販売している、当社子会社・株式会社FunFusionを販売元とする「モバイル活用パック」も引き続き、売上に寄与しております。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は114百万円(前年同期比12.2%減)、営業利益は47百万円(前年同期比18.6%減)となりました。

② SMS事業

SMS事業はショートメッセージを利用した通知サービスであり、「らくらくナンバー」、「いけいけナンバー」、「いけいけナンバーAPI」と3つのサービスがあります。当第2四半期連結累計期間においては、営業を注力する業界の絞込み、導入企業と同業種への事例紹介や、既存のお客様からのご紹介、展示会への出展、新規代理店の開拓と連携強化などにより新規のお客様の獲得に努めました。また、2018年3月に提供を始めたSMSを利用したアンケート収集システム「アンケートつなぐ君」も導入企業を増やしてつとあり、売上に寄与しております。

上記の結果、SMS事業の売上高は77百万円(前年同期比27.0%増)、営業利益27百万円(前年同期比236.4%増)となりました。

③ 受託開発ソフトウェア事業

受託開発ソフトウェア事業は、コンピューターソフトウェア及びウェブシステムの設計、開発、販売等を行う事業であり、当社子会社であった株式会社アドバンティブにて実施しておりました。株式会社アドバンティブの全株式は当第2四半期連結会計期間に売却しております。

受託開発ソフトウェア事業の売上高は28百万円(前年同期比40.5%減)、営業利益1百万円(前年同期比36.0%減)となりました。

④ メディア事業

メディア事業は、2018年3月に譲受けた事業であり、ウェブコンテンツ提供に伴う広告収入を主な収益としております。

メディア事業の売上高は32百万円(前年同期比50.1%増)、営業利益7百万円(前年同期比141.7%増)となりました。

⑤ その他

その他の売上は、主にシステム保守によるものであり、売上高は15百万円(前年同期比197.3%増)、営業利益3百万円(前年同期比1119.5%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高266百万円(前年同期比1.6%増)、営業損失0百万円(前年同期営業損失9百万円)、経常利益0百万円(前年同期経常損失11百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失13百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は673百万円となり、前連結会計年度末に比べ、8百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少7百万円、売掛金の増加5百万円、のれんの減少9百万円等であります。

負債の部は354百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加しております。主な要因は、長期借入金の増加16百万円、1年内長期借入金の増加9百万円、未払消費税の減少10百万円、買掛金の減少2百万円、未払金の減少5百万円等であります。

純資産は319百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	454,298	446,914
売掛金	92,738	98,399
仕掛品	2,419	—
短期貸付金	4,041	1,189
その他	13,482	37,362
貸倒引当金	△196	△189
流動資産合計	566,783	583,676
固定資産		
有形固定資産	10,346	9,212
無形固定資産		
商標権	1,331	1,627
ソフトウェア	3,186	4,675
ソフトウェア仮勘定	—	182
のれん	73,442	64,264
無形固定資産合計	77,961	70,750
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	5,000
長期未収入金	782,686	781,786
繰延税金資産	188	—
その他	4,884	5,202
貸倒引当金	△782,686	△781,786
投資その他の資産合計	10,073	10,202
固定資産合計	98,380	90,165
繰延資産		
創立費	69	—
繰延資産合計	69	—
資産合計	665,234	673,841

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,526	8,157
短期借入金	44,000	44,166
1年内返済予定の長期借入金	62,964	72,444
未払金	19,927	14,079
未払法人税等	13,145	13,466
賞与引当金	1,130	1,319
その他	22,301	11,692
流動負債合計	173,996	165,326
固定負債		
長期借入金	154,588	170,805
退職給付に係る負債	20,093	18,270
固定負債合計	174,681	189,075
負債合計	348,678	354,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,287,602	2,287,602
資本剰余金	681,558	681,558
利益剰余金	△2,478,263	△2,475,379
自己株式	△174,342	△174,342
株主資本合計	316,556	319,439
純資産合計	316,556	319,439
負債純資産合計	665,234	673,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	261,728	266,016
売上原価	87,749	83,870
売上総利益	173,978	182,145
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	28,576	27,269
支払手数料	41,174	38,734
役員報酬	27,792	26,142
給料及び手当	23,126	27,050
地代家賃	7,356	8,404
退職給付費用	1,801	892
のれん償却額	8,329	9,178
貸倒引当金繰入額	94	83
賞与引当金繰入額	—	2,073
その他	45,017	42,851
販売費及び一般管理費合計	183,271	182,681
営業損失(△)	△9,292	△535
営業外収益		
受取利息	50	47
受取手数料	—	1,367
受取配当金	—	0
助成金収入	570	950
貸倒引当金戻入額	900	900
その他	145	1,034
営業外収益合計	1,666	4,299
営業外費用		
支払利息	2,545	2,319
解約手数料	1,200	537
その他	145	183
営業外費用合計	3,891	3,040
経常利益又は経常損失(△)	△11,517	723
特別利益		
子会社株式売却益	—	7,456
特別利益合計	—	7,456
特別損失		
固定資産除売却損	21	—
特別損失合計	21	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,538	8,180
法人税、住民税及び事業税	1,585	5,129
法人税等調整額	112	167
法人税等合計	1,697	5,296
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,236	2,883
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,236	2,883

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,236	2,883
四半期包括利益	△13,236	2,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,236	2,883
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,538	8,180
減価償却費	2,902	3,350
のれん償却額	8,329	9,178
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△919	△907
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,801	△1,823
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	189
長期未収入金の増減額(△は増加)	900	900
受取利息及び受取配当金	△50	△48
支払利息	2,545	2,319
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△7,456
固定資産除売却損益(△は益)	21	—
売上債権の増減額(△は増加)	△12,393	△19,241
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,537	△1,224
前払費用の増減額(△は増加)	1,498	△5,265
未収入金の増減額(△は増加)	△2	△413
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,282	△2,368
未払金の増減額(△は減少)	△1,251	1,834
未払費用の増減額(△は減少)	△427	1,339
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,412	△8,384
その他	4,445	△20,650
小計	453	△40,493
利息及び配当金の受取額	25	40
利息の支払額	△2,776	△2,558
法人税等の支払額	△3,581	△4,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,878	△47,636
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期積金の預入による支出	△600	△20,600
有形固定資産の取得による支出	△4,052	△1,615
無形固定資産の取得による支出	△169	△3,052
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	16,197
貸付けによる支出	△420	△280
貸付金の回収による収入	130	3,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,111	△6,219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	5,000
短期借入金の返済による支出	—	△4,834
長期借入れによる収入	80,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△30,678	△54,303
自己株式の取得による支出	△24	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,297	25,863
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	38,307	△27,992
現金及び現金同等物の期首残高	151,295	181,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	189,602	153,551

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第2四半期決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。